

ヒューマンファクター分析法 の指導教材

Manuals for Guidance of Human Factor Analyzing Technique

概要

ヒューマンエラーに起因する事故の再発防止や未然防止のための「鉄道総研式ヒューマンファクター分析法」については、ハンドブックの発刊から10年近く経過し、分析者の視点も多様になってきています。そこで、最新の研究成果、指導経験で得られたノウハウ、よく受ける質問等をふまえて、マニュアルとして指導教材をバージョンアップしました。

特徴

- 初めて分析を行う人向けの〔初級編〕と、より効率的に分析を行いたい人や分析の指導を担当する人向けの〔中級編〕に分けて作成しました。
- 〔初級編〕は、情報の整理方法や背景要因の考え方などの分析法の概要や分析の流れを説明しています。
- 〔中級編〕は、実務で分析を行う際の留意点やコツ、分析法の指導法について説明しています。
- それぞれのマニュアルには、CD-ROMがついています。

〔初級編〕：ヒューマンファクターの解説
3件の分析事例

〔中級編〕：ヒューマンファクターの解説
なぜなぜ分析支援ツール

用途

- 事例演習を通して、分析法を身につけていく際の指導教材として使用します。
- 留意点やコツを理解し、なぜなぜ分析支援ツールを用いることで、適切な分析への効率化を図ります。

■鉄道総研式 ヒューマンファクター分析法マニュアル〔初級編〕



- 〔初級編〕(36ページ)
- 分析法の概要
 - 分析手順
 - 情報の整理方法
 - エラーの特定方法
 - エラー分類
 - 背景要因の考え方
 - 対策の考え方
 - 架空事例を用いた分析の流れ

■鉄道総研式 ヒューマンファクター分析法マニュアル〔中級編〕

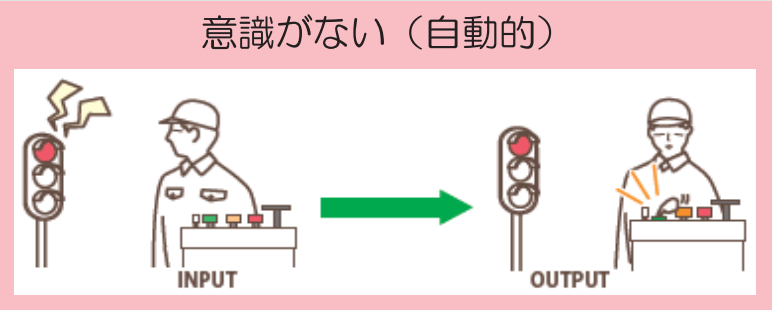


- 〔中級編〕(50ページ)
- なぜなぜ分析のコツについての具体例
 - 分析の効率化のコツ
 - なぜなぜ分析支援ツールの活用方法
 - 仕組みを改善するための対策の考え方
 - 分析法の指導法を解説



エラーの分類とヒューマンファクターの解説

2つのタイプのエラーについて、エラーを誘発する可能性のある要因と対策の考え方を解説しています。



ヒューマンファクターの解説目次

- 夜間作業は疲れる p.4
- 体調・健康および日常生活の改善 p.4
- 作業場所 p.5
- 使う人に合ったデザインを p.5
- 似ているものは近くに置かない p.6
- 違う点を確認する手順にする p.6
- 準備作業は忘れやすい p.7
- 途中で作業を区切らない p.7
- 後で . . . は思い出せない p.8
- あえて複雑にしておく p.8
- 事故を起こしやすい人の能力 p.9
- 事故を起こしやすい人の性格 p.9
- エラー防止設計 p.9
- 間違えにすぐ気づけば大丈夫かも p.10
- 人が行う作業をなくす p.10

- 誰からもわかるか p.13
- 確実に伝える p.14
- 読む気にさせるマニュアルのデザイン p.14
- 伝わっているか確認してから作業開始 p.15
- 指示を受ける気になるには p.16
- ルールの真の理解 p.17
- 思い出しやすい聞き方 p.17
- 不満があると、ルールを守る気にならない p.18
- 仕事内容の満足感 p.18
- チームならではの要因 p.19
- 情報伝達のエラー p.19
- 伝え方のスキル p.20
- 安全風土の醸成 p.21



なぜなぜ分析支援ツール

なぜなぜ分析において、広い視点での発想の手がかりを示す簡易な支援ツールを収録しています。

① 要因の候補から、背景要因を1つ選択

② 選択した要因を参考に、事例にあわせて主語等を具体的にする

③ 次へ進むと、選択した要因に対する、次の背景要因の候補が提示される。

分析法の研修カリキュラムの例

個別のご要望に対応し、事故担当者、指導者、職場管理者、若手リーダーなど、様々な担当や階層レベルに対応した内容の研修を行っています。

時間	内容
9:30-10:40	分析法の必要性
10:40-12:00	調査結果の整理とエラーの特定方法
13:00-15:30	背景要因の分析法(事例演習)
	背景要因の分析法(解説) (演習結果の解説)
15:30-16:10	結果の整理と活用方法
16:10-16:30	質疑応答